

第23回福島ダイアログ 「処理水をめぐる課題を福島で考える、 世界と考える」



2018年第19回福島ダイアログ @南相馬

写真：宮井優



主催：NPO法人福島ダイアログ

<http://fukushima-dialogue.jp>

Facebook: @FukushimaDialogue

Twitter: @NPOFksmDialogue

2021年11月28日（日）

9:15～16:30 JST

午前：発表

午後：ダイアログ

（パネル・ディスカッション）

参加者会場：

みんなの交流館 ならはCANvas

一般参加：Zoom

<https://fukushima-dialogue.jp/zoom202111/>（左QRコード）

***会場は、発表者とパネリストのみ利用
参加費無料。日英同時通訳付**

協賛：

日本保健物理学会

日本リスク学会

フランス原子力防護評価センター(CEPN)

フランス放射線防護原子力安全研究所(IRSN)

開催のねらい

今年で、東京電力福島第一原子力発電所事故から10年が経ちました。

事故の影響を受けた地域では、日常をすっかり取り戻した地域や、前向きに進んでいる地域も人もある一方、まだ課題が残されている地域や人もあります。なかでも、現在、もっとも大きな話題となっているのが、原発構内タンクに溜まっている「水」の取り扱いです。

日本政府は、2021年4月にALPS処理水の処分方法を海洋放出にすると決定し、現在、関係者の中で協議が進められています。けれど、まだ多くの人の中には、割り切れない思いが残っています。もっと知りたいこと、言いたいこと、確認したいことがある、他の人の意見も聞きたいのに誰がどう考えているのかもわからない、そんな思いを抱いている人は多いのではないのでしょうか。

また、処理水の処分をめぐることは、世界的にも処理方法だけでなく、その意思決定プロセスも関心を持たれています。日本では、福島では、何が問題となり、どのように話し合われているのか、そこにも注目が集まっています。原子力関係の施設のあるところは世界のどこでも、施設のあり方や廃棄物などの処分をめぐる、施設（行政）と地域住民や社会と係争になることが少なくありません。

そこで、NPO福島ダイアログは、処理水をめぐる意思決定をテーマとして関係する方達の意見を聞き、話してもらい集まりを開くこととしました。今回は、「賛成」「反対」の意見を議論するための集まりではありません。どうすればよかったのか、どうしていくのがいいのか、それぞれの立場や考え方で違ってくる、それぞれの現在の状況認識や課題を話してもらい、それぞれが考える材料にしていきたいというのが、今回の集まりの狙いです。

今回は、初めに国内外の様々な立場から現在の状況認識、経験や課題を共有し、その後のダイアログでは、フランスの原子力施設周辺で設立されている地域住民協議会（ANCCLI）のYves Lheureuxさん、そしてカナダでの住民と核施設との協議に関わってきたPippa Feinsteinさんにも参加いただき、海外での同じような状況にどう対応したのか、経験を共有していただきます。オンライン（zoom）で海外とも繋ぎ、日英同時通訳を介して、海外の方にも日本の状況をスムーズにお伝えする機会といたします。



本ダイアログは、議論の公正性を保つために、補助金などの外部資金は利用せず、寄付金のみで運営いたします。ご支援よろしくお願ひ致します。

●ゆうちょ銀行

【記号・番号】 18220-38579651

【加入者名】 特定非営利活動法人福島ダイアログ

●ゆうちょ銀行以外

【店名】 八二八（ハチニハチ）店

【店番】 828

【預金種目・口座番号】 普通預金 3857965

【名義】 特定非営利活動法人福島ダイアログ

*クレジットカードはPayPalをご利用になれます。



下記リンク先「送信」から任意の金額をご寄付いただけます。

https://paypal.me/npofd?locale.x=ja_JP

こちらをご利用いただけます。

<http://fukushima-dialogue.jp/>

プログラム

司会：安東量子, 金井裕美子 (NPO福島ダイアログ)

- 9:15-9:20 開始の挨拶 -安東量子 (NPO福島ダイアログ)
- 9:20-9:40 処理水問題のこれまでの経緯 -小山良太 (福島大学)
- 9:40-10:00 四倉ホッキ漁の取り組み -佐藤文紀 (四倉ホッキ組合)
- 10:00-10:20 観光・飲食業の観点から -菅野貴拓 (松川浦観光旅館組合)
- 10:20-10:50 コーヒーブレイク
- 10:50-11:10 農業の観点から -数又清市 (JAふくしま未来)
- 11:10-11:30 福島の処理水に対する韓国の認識とコミュニケーションの状況 -イオク・ハン (韓国放射線防護学会)
- 11:30-11:50 カナダウラン汚染水の処理の例 -ピッパ・フェインシュタイン (カナダ)
- 11:50-12:50 昼食
- 12:50-13:05 保健物理学会としての取り組み -吉田浩子 (日本保健物理学会)
- 13:05-13:25 フランスでのANCCLIの取り組み -イブ・ルールー (CLI/ANCCLI：フランス原子力活動への市民の社会関与)
- 13:25-13:30 ダイアログ趣旨説明 -安東量子
- 13:30-15:30 ダイアログ (120分) ファシリテーター：安東量子
- 参加者：
佐藤文紀 菅野貴拓 数又清市 秋元奈々美 木村謙一郎 吉田浩子 大沼進
Yves Lheureux ほか
- 15:30-15:45 コーヒーブレイク
- 15:45-16:00 議論のまとめ -ティエリー・シュナイダー (CEPN), ジャン＝フランソワ・ルコント (IRSN)
- 16:00-16:25 総合討論
- 16:25-16:30 終わりの挨拶